

欧州マーケットビュー



- 2021年7-9月期の実質GDP成長率は、ワクチン接種の進展や行動規制の緩和などを背景に経済活動が回復傾向にあることを受け、前期比+2.2%と2期連続のプラスでした。足元では欧州各国・地域で再び新規感染者数が急増しており、今後の動向が注目されます。
- EU（欧州連合）では復興基金（2026年までに約8,000億ユーロの投資計画）による投資拡大が見込まれるなど、当面は拡張的な財政運営が引き続き景気を下支えする見通しです。

金利とインフレ率

ユーロ圏の2021年11月HICPは前年比4.9%でした。独VAT税率の引下げ措置終了や原材料価格の上昇などがインフレ加速の要因とみられます。

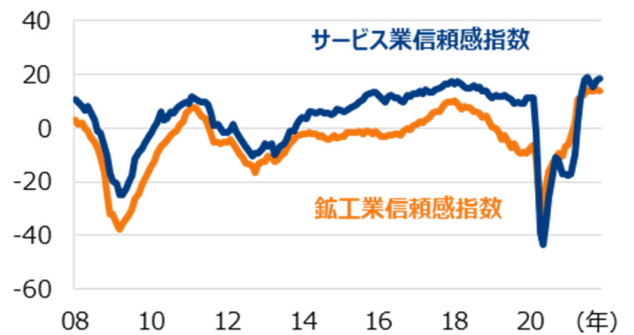
(2008年1月～2021年11月)



企業景況感

ユーロ圏の企業景況感は鉱工業、サービス業ともに改善が継続しています。鉱工業においては受注・生産や雇用の見通しが安定しています。

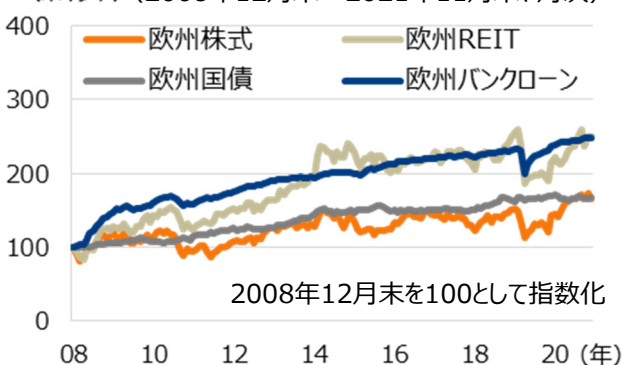
(2008年1月～2021年11月)



欧州各資産の推移

感染の再拡大懸念などから欧州株式は下落したものの、欧州バンクローンは底堅く推移しました。

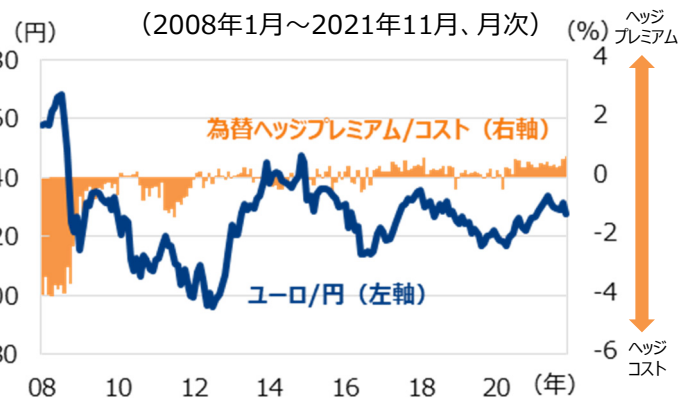
(ポイント) (2008年12月末～2021年11月末、月次)



ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。

(2021年11月：0.71%)



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヵ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

<使用したインデックス（いずれもユーロベース）>

欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。